

2026年7月24日

各 位

ダイダン株式会社

**ダイダンが参画する「瀬戸内渚フォーラム」の活動により
「胸上浜（岡山県玉野市）」が自然共生サイトに認定**

ダイダン株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：山中康宏、以下「ダイダン」）は、瀬戸内海の自然再興を目指す「瀬戸内渚フォーラム（※1）」（主催：株式会社イノカ 本社：東京都港区、代表取締役CEO：高倉 葉太）に参画し、地域の環境保全につながる調査活動や研究に取り組んでいます。

このたび、瀬戸内渚フォーラムが活動対象とする岡山県玉野市の「胸上浜」が、民間の取組等により生物多様性の増進が図られている区域として、環境省より「自然共生サイト」に認定されました。本件は瀬戸内渚フォーラムおよび胸上漁業協同組合（玉野市、組合長：國屋 利明）等が共同で申請した活動計画が、生物多様性の回復に向けた取り組みとして評価され、地域生物多様性増進法にもとづいて認定を受けたものです。ダイダンは、これまで培った環境測定技術を、フォーラム活動のひとつである海岸の潮流把握に活用することで、海洋保全に貢献しています。

胸上浜が位置する瀬戸内海では1960年代から1990年代までにアマモ場（※2）の約7割が消失し、生物多様性の喪失や漁獲量の減少、魚種の変化など様々な課題が生じています。今回の自然共生サイト認定および瀬戸内渚フォーラムでの継続的な自然再生活動を通じて、生物多様性や水産資源の回復などネイチャーポジティブへの寄与、ブルーカーボンの創出、自然を軸とした地域活性化が期待されます。



自然共生サイトに認定された胸上浜

ダイダンは瀬戸内渚フォーラムへの参画に加え、瀬戸内地域に関係の深い水産資源の回復を目指す新たな取り組みにも着手しています。これらの挑戦を通じて、社内外のステークホルダーに海の環境への関心を高めていただくとともに、建築設備の設計・施工において培った流体制御などの技術を活用し、日本の海の再生と地域活性化につながる技術開発を目指しています。

今後も10年後・20年後の社会ニーズを見据え、「地球と社会と私たちの未来に、安全・快適・信頼の空間価値を届ける」という企業理念に基づき、サステナビリティ経営の推進と地域活性化に寄与してまいります。

(※1) 瀬戸内渚フォーラム

企業・大学・自治体など、瀬戸内海に関係する多様なステークホルダーが集結し、人と海が共存する地域循環型社会のモデルケース創出を目指すプロジェクトです。

公式サイト: <https://setouchi.nagisa.innoqua.jp>

(※2) アマモ場

海岸付近の浅い砂泥底にアマモ（海生の植物）などが群生する生態系です。魚介類の産卵・生育の場となることから「海のゆりかご」とも呼ばれ、水質浄化や二酸化炭素の吸収源としても重要な役割を果たしています。

以上

【お問合せ先】

ダイダン株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション部

長田 悠梨

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10

Tel:03-5276-4568

E-mail: pr@daidan.co.jp